様式１－１

地域文化財総合活用推進事業　実施計画

1 都道府県・市区町村名	多賀城市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	多賀城市文化遺産活用活性化事業	【計画の改善時期】 平成　年度	
4 実施計画期間	平成　25　年度　～　平成　32　年度		

5 実施計画の概要

多賀城市では、これまで特別史跡多賀城跡附寺跡という日本を代表する文化遺産があることから、埋蔵文化財保護を中心に文化財行政を進めてきた。しかしながら、多賀城市内には江戸時代以降の本市の特徴を醸し出す文化遺産が数多く眠っている。さらに、東日本大震災により、地震による被害のみならず、市域の約３分の１が津波により浸水し、多くの文化遺産が被災した。これらの文化遺産の調査を実施し、価値付けすることは、文化遺産の保護継承を図る上で重要である。

本計画では、地域に眠る文化遺産を調査し価値づけした上で、その成果を地域に還元し、将来に向けた保存・継承意識の向上を促すとともに、総体的に把握することで地域社会の文化的再生、ひいては多賀城市全体の復興に寄与するため、以下の事業を実施する。

(1)スマートフォン等を活用した文化遺産案内システムの構築事業（平成25・27・29年度）
(2)市内の文化遺産発信とボランティアの人材育成（平成25～32年度）
(3)地域の文化遺産普及啓発事業（平成25～32年度）
(4)多賀城海軍工廠関連事業（平成25～27年度）
(5)歴史的建造物調査（平成25～28年度）
(6)古文書等調査（平成25～27年度）
(7)石造物調査（平成26～31年度）
(8)歴史遺産調査報告書作成（平成25～32年度）

6 実施体制

本事業については、多賀城市が全体計画の企画・調整・事業の指導等を行なう。
主な担当課：多賀城市教育委員会文化財課
また、事業の実施については、次の団体が実施する。
・多賀城市文化遺産活用活性化実行委員会（会長　小畑幸彦）
構成団体（多賀城市教育委員会、多賀城市史跡案内サークル、多賀城史遊館ボランティアの会）

7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	（1）補助金額	～平成30年度交付決定額：　53,087　千円	平成31年度申請額：　1,101　千円
	（2）実施事業の概要	別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

本事業でのさまざまな取組によって、地域の歴史文化遺産に対し、地元住民が身近な文化遺産の価値を認識する契機となり、ひいてはそれが地域の歴史文化への誇りの醸成となり、文化財の保護継承へと繋がっていくことが期待できる。また、観光部局との連携のもと、歴史遺産調査成果に基づくイベントが実施されており、今後も文化遺産の存在が周知され、さらなる本市の魅力創設の契機となり得る。

10 その他事業（自主財源，民間団体，他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	

11「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定，「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

本事業で実施している歴史遺産調査により、地域ごとの歴史資料の特色が明らかになってきているが、さまざまな制約から悉皆調査には至っていないのが実情である。歴史文化基本構想については、現在の文化財調査体制を見直しつつ、平成32年度には歴史遺産調査の総括編作成と並行して、未調査の項目の調査に着手し、平成36年度を目処に策定を目指す。歴史的風致維持向上計画については、既に平成23年12月に認定を受けており、現在計画に登載した事業について実施、あるいは実施に向けた調整を行なっているところである。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	多賀城市教育委員会事務局文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果　別紙

目標区分１：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分１：	地域の文化遺産への来場者数　（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標１：	本市の観光客入込数		関連事業:	①②③④	
目標値１：	【現状値】 平成 30 年度 948,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 1,295,000 人				
設定根拠１：	平成24年度以降、観光入込数の伸び率平均が、対前年度比約1,1倍であることを参考に、毎年度伸び率を約1,1倍と設定				
進捗状況１：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
947,000 人	997,000 人	895,000 人	882,000 人	935,000 人	984,000 人
73%	77%	69%	68%	72%	76%

目標区分２：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分２：	地域に誇りを感じる住民の割合　（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標２：	文化財調査を実施することによって向上する、地域に誇りを感じる市民割合の増加		関連事業:	①②③④	
目標値２：	【現状値】 平成 30 年度 44 % ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 60 %				
設定根拠２：	市民アンケートの結果から、文化遺産調査実施地域において、市の歴史と文化に誇りを感じる市民の割合が対前年度比が約10ポイント増加していることを参考に、文化遺産調査終了後の市民全体の平均値を、対27年度の平均値から10ポイント増に設定				
進捗状況２：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
44 %	44 %	50 %	50 %	51 %	49 %
73%	73%	83%	83%	85%	82%

様式１－１別紙②

8（2）実施事業の概要　別紙

事業①：	スマートフォン等を活用した文化遺産案内システムの構築事業	実施団体：	多賀城市教育委員会
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成　25　年度 ～ 平成　32　年度
事業概要：	平成25年度に構築したシステムをベースに、平成27年度及び29年度事業では、文化遺産調査で得られた成果の反映とさらなる活用を目指し、紹介する文化遺産数を増やし、範囲も市全域に及ぶよう設定した。		
評価指標区分：	・アプリ等のダウンロード数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	「歴なび多賀城」のダウンロード数		
目標値：	【現状値】　平成　26　年度　1,200　件　⇒　【目標値】　平成　32　年度　9,000　件		
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率		

平成　26　年度	平成　27　年度	平成　28　年度	平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度
1,200　件	1,800　件	2,900　件	5,900　件	6,400　件	件
13%	20%	32%	66%	71%	

事業②：	市内の歴史文化遺産の発信とボランティアの人材育成		実施団体：	多賀城史遊館ボランティアの会		
事業区分：	人材育成		事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	市民と共に文化遺産の調査研究成果を学び、それらの活用を探ることで、本市の歴史文化遺産の理解や地域の活性化を図ることを目指し、次世代を担うボランティアの育成も図る。３１年度は、古代多賀城とその周辺のまち並みで行われていた祭祀に着目し、従来の発掘調査の成果をもとに学習し、解説するにあたっての基礎知識を得る。市内に残る古代関連遺産の案内が可能となることを目指す。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド利用者数				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	年間のガイド利用者数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 603 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 640 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
421 人	450 人	626 人	501 人	506 人	603 人	
66%	70%	98%	78%	79%	94%	

事業③：	地域の文化遺産普及啓発事業	実施団体：	多賀城市史跡案内サークル
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成　25　年度 ～ 平成　32　年度
事業概要：	市内に残る文化遺産を巡り、その価値を改めて認識することを目的とする。３１年度は名勝おくのほそ道の風景地に指定されている壺碑、末の松山、興の井をはじめとした歌枕を巡り、解説の深化に寄与することを目指す。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	市内を訪れる観光客数		
目標値：	【現状値】 平成　30　年度　984,000　人　⇒　【目標値】 平成　32　年度　1,295,000　人		
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率		

平成　25　年度	平成　26　年度	平成　27　年度	平成　28　年度	平成　29　年度	平成　30　年度
947,000　人	997,000　人	895,000　人	882,000　人	935,000　人	984,000　人
73%	77%	69%	68%	72%	76%

事業④：	地域の文化遺産普及啓発事業	**実施団体：**	多賀城市教育委員会
事業区分：	普及啓発	**事業期間：**	**平成** 30 **年度 ～ 平成** 32 **年度**
事業概要：	本事業で実施した、現多賀城市を構成する１３か村ごとの歴史遺産調査成果は、それぞれ報告書にまとめ刊行してきたところである。それらの成果を、展示という手法を使い、具体的な資料を通して紹介することによって、地域の歴史をより深く理解し、誇りに感じてもらえることを目的とする。今年度は旧大代村、笠神村、下馬村に焦点をあて、現在も活動し続けている講の様子や風習、伝統行事などを紹介しながら、３か村の特色ある歴史を描くことを目指す。これにより、これまで埋蔵文化財調査センター展示室を観覧したことのない市民に足を運んでもらうことに繋がり、市内の文化財に触れる機会の創出にも寄与することができる。		
評価指標区分：	・その他	**（具体的な指標は次のとおり）**	
具体的な指標：	期間中の展示室入館者数		
目標値：	**【現状値】 平成** 30 年度 1,600 人 **⇒ 【目標値】 平成** 32 年度 1,700 人		
進捗状況：	**各年度，状況値，目標に対する達成率**		

平成 30 **年度**	**平成** 31 **年度**	**平成** 32 **年度**	**平成 年度**	**平成 年度**	**平成 年度**
1,600 人	人	人	人	人	人
94%					